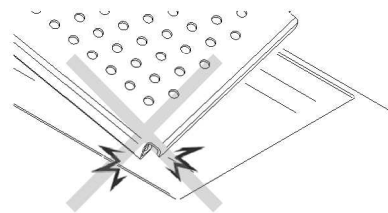


＜お願い＞

本グレーチングは金属製で重いため、グレーチングの着脱時やお手入れの際は、床に対して強い力（落下・引きずりなど）を掛けたり、角部が床に接触しないようご配慮をお願いします。

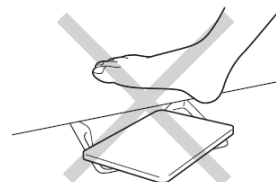
※床へキズが発生する恐れがあります。



⚠️ 注意

【ケガに注意】

- グレーチングはガタつきのないように正しく設置し、外したまま使用しないでください。また裏面のゴムを外して使用したり、グレーチングに体重をかけないでください。足を踏み外したり、すべて転びケガをする恐れがあります。
- 浴室内は石けん液や入浴剤等ですべりやすくなっています。ゆっくりとした動作を心がけてください。転んでケガをする恐れがあります。
- お手入れのときは必ずゴム手袋等で保護してください。突起部分やすき間等でケガをする恐れがあります。



【溶剤、薬品に注意】

- 固形、または粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤を使ったり、近づけたりしないでください。金属やゴムの腐食、劣化の原因となります。

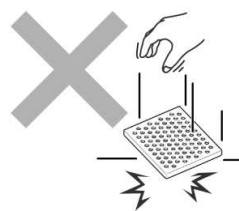
【お掃除のときは】

- タワシ、クレンザー、研磨剤、シンナー、アルカリ性および酸性の薬剤、塩素洗浄剤は表面をキズつけたり、変色、サビの原因となりますので使用しないでください。また漂白剤、カビ取り剤は必ずその取扱説明書を読み、目立たない箇所に付けてみて、変化のないことを確認してから使用してください。
- サンドペーパーやタワシの使用も、光沢を失わせキズをつけるのでおやめください。



【落下注意】

- グレーチングを落とす、こする、引きずる等しないでください。床にキズが付いたり、表面が削れる原因となります。また、足の上に落とすとケガをする恐れがあります。



【ステンレスはサビない？】

- ステンレスが鉄等に比べてサビにくい理由は、表面に酸化被膜形成され保護しているからです。そのため、この酸化被膜が保てないような環境（塩素系のカビ取り剤の放置やもらいサビの放置等）では、ステンレスといえどもサビてしまいます。カビ取り剤は長時間放置したり、洗い残しがないようにし、もらいサビも見つけたら早めに落とすようにしましょう。

【そのほか注意】

- 浴室でのご洗体後、グレーチング表面に泡が残ることがありますが、シャワーで洗い流せます。汚れなどの原因となりますので、泡が表面に残った場合は、シャワーで洗い流してください。また、排水フタの裏側は髪の毛や湯アカなどの汚れが付きやすいので、こまめに掃除することをおすすめします。